

位相空間論第二（講義）(MTH.B202)

順序集合

山田光太郎

`kotaro@math.titech.ac.jp`

`http://www.official.kotaroy.com/class/2024/top-2`

東京工業大学理学院数学系

2024/06/11

最大元・最小元

(X, \leq) : 順序集合 ; $S \subset X, S \neq \emptyset$

事実

S は “ \leq の S への制限” により順序集合となる.

定義 (定義 10.14)

$s \in S$ が S の 最小元 \Leftrightarrow 任意の $t \in S$ に対して $s \leq t$.

$s \in S$ が S の 最大元 \Leftrightarrow 任意の $t \in S$ に対して $t \leq s$.

$s = \min S \Leftrightarrow s$ は S の最小元

$s = \max S \Leftrightarrow s$ は S の最大元

最大元・最小元

例：

S_1 は最大元を有しない

▶ $X = \mathbb{R}; S_1 := \{x \in \mathbb{R}; x^2 < 2\}$

$\sqrt{2}$: S_1 の最大元ではない $\because \sqrt{2} \notin S_1$

▶ $X = \mathbb{R}; S_2 := \{x \in \mathbb{R}; x^2 \leq 2\}$

$\sqrt{2}$: S_2 の最大元である

▶ $X = \mathbb{R}; S_3 := \{x \in \mathbb{Q}; x^2 \leq 2\}$

$\sqrt{2}$: S_3 の最大元ではない $\because \sqrt{2} \notin S_3$

整列集合

ordered set

(X, \leq) : 順序集合

定義 (定義 10.17)

(X, \leq) が 整列集合

$\Leftrightarrow X$ の任意の空でない部分集合は最小元をもつ.

例: \mathbb{N} 例: $\mathbb{R}, \mathbb{Z}, \mathbb{Q}$

整列集合でない

$$\mathbb{N} \supset A \Rightarrow \exists \min A$$

命題 (命題 10.18)

($\mathbb{R}, \mathbb{Z}, \mathbb{Q}$ 全体で最小元をもたない)

整列集合 \Rightarrow 全順序集合

\ominus $\{a, b\}$ の最小元 a と b ならば $a \leq b$.

整列可能定理 (定理 10.21)

\exists 整列順序

極大元・極小元

(X, \leq) : 順序集合

定義 (定義 10.24)

- ▶ $a \in X$ が X の 極大元
 $\Leftrightarrow a < x$ をみたす $x \in X$ が存在しない.
- ▶ $b \in X$ が X の 極小元
 $\Leftrightarrow x < b$ をみたす $x \in X$ が存在しない.



上界・下界・上限・下限

(X, \leq) : 順序集合 ; $A \subset X$

定義 (定義 10.27)

- ▶ $\xi \in X$ が A の 上界 \Leftrightarrow 任意の $a \in A$ に対して $a \leq \xi$
- ▶ $\xi \in X$ が A の 下界 \Leftrightarrow 任意の $a \in A$ に対して $\xi \leq a$

定義 (定義 10.29)

- ▶ $\sup A := \min\{A \text{ の上界}\} : A \text{ の 上限}$
- ▶ $\inf A := \max\{A \text{ の下界}\} : A \text{ の 下限}$

ツォルンの補題 (次回予告)

選択公理

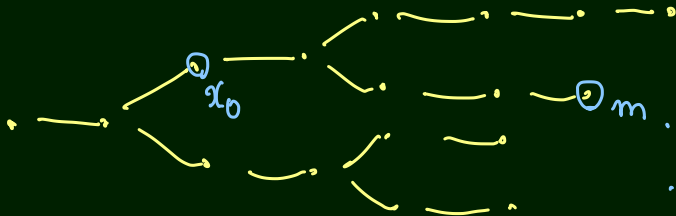
定義 *inductive*

(X, \leq) が帰納的 \Leftrightarrow 任意の空でない全順序部分集合が上に有界

定理 (ツォルンの補題; 定理 11.1) *Zorn's lemma*

X : 帰納的順序集合; $x_0 \in X$

$\Rightarrow X$ の極大元 m で $x_0 \leq m$ となるものが存在する



整列可能
濃度比較

本日の課題の提出締切は

2024年06月13日（木曜日）07:00 JST